

## チタンなどの金属酸化物製

# 基板、電子の動き解明

東北大

密な回路を作ることができ、緻密な回路を作ることができる。高性能な小型電子機器の実現につながる。

研究チームは基板を加熱して表面を加工する工程を最適な温度と時間で進め、表面にきれいに原子を並べた。原子を一つ一つ識別できる走査型電子顕微鏡で観察し、電子の動き方を調べることができた。

東北大学の杉太郎准教授らの研究グループは、シリコンに代わる半

導体基板の材料として研究が進むチタンとストロ

ンチウムの金属酸化物の

基板で、多数の原子が並び、表面で電子が動く様子を解明した。基板上に精